

『第53回定期総会を開催しました』

令和2年に続いて今年度もコロナ禍の中、「令和3年度 第53回野幌若葉自治会定期総会」が4月25日(日) 13時から野幌若葉自治会館で行われました。

小田島会長より、今回もコロナウィルス対策による異例の総会形式となったこと、令和2年度の事業については新型コロナウイルスの影響で中止が相次ぎ、最小限の活動しか出来なかった。令和3年度の事業が計画通り実施出来るよう審議をお願いしたい。と述べられました。

総務部長より、野幌若葉小学校校長八柳圭さまの祝電披露を行いました。内容の一部ご紹介いたします。

小田島会長をはじめ会員の皆様には、本校教育に多大なるお力添えをいただいております。また、見守り隊の方々には早朝から天候を問わず、子ども達の安全のためご尽力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。目指す子ども像である「笑顔いっぱい 夢いっぱい 元気いっぱい いきいき若葉っ子」をキーワードとし、子ども達全員が笑顔でいきいきと過ごせるよう職員一同力を合わせて、子ども達の指導に邁進いたします。これからの学校は、「地域とともにある学校」でなくてはなりません。学校が地域のパートナーとして連携し、協働できるような関係づくりを目指し、まちづくりに貢献していきたいと考えております。

(以下省略)といただきました。

福田総務部長より、コロナウィルス感染拡大防止のため本定期総会を「書面総会」に決定した経緯を説明、出席代議員数の報告に入りました。代議員総数152名に対し、出席代議員4名、委任状提出120名、書面表決書提出19名、合計143名となりました。従って、過半数以上の代議員の出席となり、総会が成立している旨の報告を受けました。

議長・書記選出は、総務部長より指名があり、議長には東7区石川光男代議員、書記には東6区前田修代議員が選出されました。(2ページに続く)



議事については、報告第1号から議案第3号、その他まで総務部長の報告に対し、出席代議員による活発な質疑と、書面表決書による質問事項を踏まえ、石川議長判断で議決されました。

昨年に引き続きコロナウイルスの感染拡大防止で総会規模が縮小され、会員の皆さま並びに退任役員の皆さまに対しご挨拶が出来ず大変申し訳なく思います。1年間本当にありがとうございました。今後とも自治会活動にご理解とご協力をお願いいたします。また、今年度の新役員の皆さまにおかれましては、向こう1年間ご苦勞をお掛けいたしますが、ご協力よろしくをお願いいたします。

<報告に対する質疑> 書面表決書による要望事項0件、会場から9件の質問を受ける。

(Q:質問、A:回答 項目については抜粋しています)

Q:今年度の排雪費は、会員が2,000円、非会員は3,000円で良いのか

A:コロナ禍で事業がほぼ中止となり、事業費の未執行分を会員に還付する。会員に対し、排雪費用として1,000円/戸の補助を行います。

Q:区の役員について、環境部・会館運営部・生活安全部は部員が必要なしとなったが、仕事は無くなっていないのではないのか。

A:この部の業務は無くなりませんが、専属の部員は置く必要はなく、区として兼務などにより担当者を指定するか、必要により配置しても良いことにしています。

この見直しは、少ない役員で自治会を運営していくことが目的です。

Q:若葉子供見守り隊の選任はどうなっているのか

A:10年前に生活安全部員と野幌若葉小学校PTA、希望者を合わせ約40名で発足した。現在は、ボランティアの9名のみで活動している。高齢化や仕事を持つ人が増え、見守り隊の担い手がなくなった。今後については小学校とも協議を行い、見守り隊の存続方法を検討する。

Q:LED防犯灯の更新について、故障の都度交換するのか、ある程度の計画性を持って更新して良いのか

A:江別市の補助金制度が令和2年に変更となった。詳細は、各区長に文章でお知らせしているところである。設備更新に当たっては、市より半額の補助金が出るが、事前に環境部に連絡して欲しい。申請については、環境部で行う。

Q:1年間に募金は3つ程度あるが、任意の募金と考えて良いか

A:募金は強制ではない。自由意思で参加して下さい。

Q:会館維持管理協力金について、転入者があり今年度も会長名の案内文が発行されるのか

A:令和3年度に会館運営委員会を開催し、会館運営や協力金について検討する予定である。文章の発行等は少し先になるが、協力依頼は継続して行って欲しい。会館は築43年経過しているため、修繕費も増加している。江別市に支援の依頼を毎年行っているが、市としては地域の会館を引取る等の考えはないため、修繕費の積立は必要である。

<その他に対する質疑応答>

書面表決書による要望事項1件、会場から1件の質問を受ける。

Q:回覧頻度について、ある程度まとめて出してほしい。

A:令和2年度の理事会で、1日・15日を回覧目安とし、各区役員の負担を軽減することとした。令和3年度の第1回理事会で再周知する。

Q:今年度の行事の開催・中止はいつ判断するのか

A:4月に入り、江別市から基準が発表されている。今後の理事会で出来るだけ早く対応したい。

以上

『とちのき公園にサクラ植樹』

環境部

6月6日（日）、本年度の事業計画に基づき「とちのき公園」に桜（ソメイヨシノ）5本を植樹しました。

この度の植樹は、国の都市緑化法に基づく江別市緑の基本計画に参加したもので、市の補助を受けて実施しました。当初地域の子供たちを招いたセレモニーも予定していましたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令されたこともあり、感染防止対策を取りながら、とちのき公園の管理を担当している東5区・東6区・東7区の区長並びに自治会三役の少人数で作業をすすめ、公園の周囲に分散植樹しました。

植樹した桜は高さ約1.8m、幹径2～3cm程度の幼木であるため、誤ってぶつかるなどしないよう事故防止と保護を目的に黄色と黒の目立つロープで囲いました。健やかに育ち潤いのある風景が待たれます。
(環境部長 富永孝幸 記)



『花壇づくり今年もコロナで中止』

環境部

江別市民憲章の実践活動である「花のある街並みづくり運動」の一環として当自治会が参加する本年度の「花壇づくり」は、十分な感染対策を講じながら実施できることを期待しておりましたが、新型コロナウイルスの感染対策として、札幌市のまん延防止等重点措置に引き続き、全道に緊急事態宣言が発令されたため、昨年度に引き続き止む無く中止と致しました。

花苗（マリーゴールド黄・橙）1,800株は、江別市の補助を受け前年度中に発注していることから、6月5日（土）に前年と同様希望数を各区に無償配布し、残りの花苗は野幌若葉小学校と野幌中学校に寄贈して学校教育活動に役立てて頂きました。

両校の校長先生・教頭先生からは感謝とお礼の言葉をいただき、児童・生徒が学校花壇に楽しそうに植えている様子の写真を送っていただきました。来年こそは、元の姿に戻ることを願うばかりです。

(環境部長 富永孝幸 記)



野幌中学校の花壇整備



野幌若葉小学校の花壇整備

『野幌若葉自治会館 7月1日から開館』 会館運営部

北海道の「緊急事態宣言」は20日で解除されましたが、札幌市や近郊の都市はまだ警戒が必要な状況で、札幌市は「まん延防止等重点措置地域」に指定されました。近郊の都市も段階的に警戒を解除することになり、江別市も当面厳しい対策が継続されます。野幌若葉自治会館の利用にあたっては、別紙の「会館利用ガイドライン」に基づき、利用者の責任により、感染防止対策に十分注意しご利用をお願いします。

1. 当面利用を自粛していただく活動
 - カラオケ等、大きな声を出す活動や、至近距離での活動となる麻雀の利用
 - 身体的な接触のある活動、及び呼気が荒くなる運動を伴う活動
 - 飲食を伴う活動の利用
 - 風邪の症状があり体調がよくない方の利用
2. 団体の代表者は、感染防止対策チェックリストを事前に参加者へ周知してください。
 - 「会館利用ガイドライン」「チェックリスト」は会館に備えてあります
3. 会議は、事前に電話や書面などで打ち合わせを行い、少人数・短時間で済ませるよう配慮して下さい。ホールなどの広い部屋で換気を十分に行い、マスク着用等により濃厚接触に注意して利用して下さい。

『ペットの飼い方と飼育のマナー』 環境省HPより

動物を飼う時は、社会や近隣に迷惑を及ぼさないように、飼い主のモラルとマナーに気をつけましょう。(<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/pickup/owner.html>)

【飼い主に守ってほしい5か条】

1. 動物の習性等を正しく理解し、最後まで責任をもって飼いましょう
2. 人に危害を加えたり、鳴き声等で近隣に迷惑をかけることのないようにしましょう
3. むやみに繁殖させないようにしましょう
4. 動物による感染症の知識を持ちましょう
5. 盗難や迷子を防ぐため、所有者を明らかにしましょう

若葉子供見守り隊 隊員募集!!

「気楽に・気長に・危険なく」をモットーに普段の生活の中で野幌若葉小児童を守る安心・安全活動を続けています。活動に参加したい、興味がある方は、各区長または生活安全部まで気軽にお声掛け下さい。

生活安全部 連絡先:野幌若葉自治会館 電話:011-384-4410



「広報わかば」を含む各種情報が掲載されています。パソコン・スマホから、ご活用ください。

EMC 自治会活動 : <https://jichikai.ebetsu.org/>